

FlexNet Manager Suite 2017 R3 リリースノート

2017 年 11 月、バージョン 1.00

はじめに.....	2
新しい機能	4
オンプレミス インストールの Flexera Analytics	4
CyberArk AIM 統合のサポート.....	4
スタンバイ状態の Oracle インスタンスからのインベントリ収集.....	5
以前のリリースからの変更点	5
クラウド Web アドレス (URL) の変更	5
クラウド向け多要素認証.....	6
ライセンス消費の計算に関する変更	6
XenApp サーバー エージェントがインベントリ ビーコンへの直接アップロードをサポート.....	7
[ライセンスのプロパティ] ページの変更.....	7
暗号化フェールオーバー テクノロジーの削除.....	8
サイレント インストールにおける資格情報の暗号化サポート.....	8
IBM License Metric Tool (ILMT) 9.2.5 から 9.2.8 のサポート	8
VMware vSphere および vCenter 2.5 から 4.x のライフサイクル終了	9
インベントリ ビーコンのアップデート推奨.....	9
FlexNet Report Designer.....	9
使用許諾契約	9
インストールおよびアップグレードについての通知	10
修正されたバグ	11
システム要件	12
ネットワーク要件.....	14
ハードウェア要件	15
前提条件ソフトウェア.....	16
その他の製品との互換性.....	22
既知の問題	26
ドキュメント	26
その他の情報	26

メモ: 最新版のリリースノートは、フレクセラ ソフトウェア [Customer Community](#) (ログイン要) からご利用いただけます。

はじめに

FlexNet Manager Suite は、16,000 社を超えるソフトウェアメーカー、および 225,000 以上のアプリケーションに対するソフトウェア資産、ハードウェア資産、およびエンタープライズ契約の管理を行います。インストール済みのソフトウェア、アプリケーションの使用率、購入に関する情報をレポートし、またこれらを照合してライセンス ポジションを提供します。仮想環境および Oracle データベースのインベントリを行い、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)、および構成可能なアダプターを使って、その他のインベントリ ツールからインベントリをインポートし、エンタープライズ リソース プラニング (ERP)、人事 (HR)、Active Directory (Ad)、および発注 (PO) システムとシームレスに統合します。1,000,000 以上の製品 SKU 番号 (Stock Keeping Unit) を含むビルトイン ライブラリを使って、購入とインベントリを自動照合し、最新のライセンス モデルもサポートする FlexNet Manager Suite を活用することで、エンタープライズ内のソフトウェア資産運用を把握すると共に、ソフトウェア支出の最適化を図ることができます。

これらのリリースノートには、FlexNet Manager Suite について次の情報が掲載されています:

- FlexNet Manager Suite
- FlexNet Manager for IBM
- FlexNet Manager for Microsoft
- FlexNet Manager for Oracle
- FlexNet Manager for SAP Applications
- FlexNet Manager for Symantec
- FlexNet Manager for VMware
-
- Service Life Data Pack

スイートに含まれる次の製品については、個別のリリースノートを参照してください:

- FlexNet Manager for Engineering Applications
- FlexNet Manager for Cloud Infrastructure
- Workflow Manager

公開されるリリースノートは、英語版、フランス語版、ドイツ語版および日本語版をご利用いただけます。

新しい機能

オンプレミス インストールの Flexera Analytics

Flexera Analytics は、クラウド カスタマー向けに 2017 R2 リリースで導入されましたが、今回よりオンプレミス カスタマー向けにも提供されていて、2017 R3 オンプレミスリリースで使用できるようになりました。Flexera Analytics は、ソフトウェアおよびハードウェア資産管理用の新しいインタラクティブなレポートを提供します。今回より、ほぼリアルタイムでアプリケーション、ライセンス、資産、およびインベントリについてのデータを参照することができます。シンプルかつ効率的なインターフェイスは、管理環境を一目瞭然にわかりやすく表示し、問題を素早く識別するためにデータを調査できる機能が提供されています。

マイ分析ホーム (My Analytics home) を使って、各オペレーターの特定の用途に従い、用意されている様々なウィジェットで構成される、カスタマイズされた独自のダッシュボードを作成することができます。

CyberArk AIM 統合のサポート

2017 R2 SP1 (内部バージョン番号 12.3.1) リリースから、FlexNet Beacon は CyberArk Application Identity Manager との統合により、スケジュールされたリモート実行タスク (採用、検出、およびインベントリ収集) を完了するためにインベントリ ビーコンが必要な資格情報を管理できます。

このモードでは、インベントリ ビーコンをターゲット デバイスへ接続するために必要な資格情報が CyberArk Vault 内の保存場所に保管されます。CyberArk 資格情報プロバイダー (インベントリ ビーコンにローカルでインストールされる) は、セキュリティで保護された統合を提供し、今回より FlexNet Password Manager と共に利用することで、(資格情報そのものではなく) CyberArk に保存されているアカウント/パスワードへの暗号化された参照を格納します。

System Reference PDF (英語のみ。オンライン ヘルプのタイトル ページから取得可能) に追加された新しい章は、CyberArk との統合を使用する、または使用しない Password Manager を含み、「他のコンピューターのインベントリ ビーコン資格情報 (*Inventory Beacon Credentials for Other Computers*)」について説明します。いくつかの一般トピックもオンライン ヘルプからより詳細なリファレンスに移動しました。インベントリ ビーコンおよび Password Manager についての残りのオンライン ヘルプトピックも、新しい機能についての説明が追加されています。

ヒント: 以前のリリースで「パスワードストア」と呼ばれていた Password Manager は、今回のリリースから、資格情報を格納中でない場合にも、その機能をより反映する名前に変更されています。

スタンバイ状態の Oracle インスタンスからのインベントリ収集

ローカルにインストールされている Oracle データベース サーバー上の FlexNet インベントリ エージェントは、稼働中の任意の Oracle データベース インスタンスからソフトウェア インベントリ（およびライセンスの種類によって必要なハードウェア インベントリ）を収集します。FlexNet Manager Suite のこのリリースから機能が拡張され、スタンバイ状態（つまり、MOUNT モードであるが、READ モードではないインスタンス）の Oracle インスタンスからもインベントリを収集するようになりました。これには、稼働切り替えを待機中のスタンバイ状態の Oracle Data Guard インスタンスが含まれます。

この追加インベントリを実現するために、ローカルにインストールされている FlexNet インベントリ エージェントの前提条件または構成に変更はありません。

ただし Oracle によると、特定のインベントリ クエリは、スタンバイ状態の Oracle データベース インスタンス上で行うことは不可能であるとしています。そのため、スタンバイ状態のときにのみインベントリが行われた Oracle インスタンスからのインベントリ データは、稼働中の Oracle データベース インスタンスから収集されたインベントリよりも詳細に欠けます。同じ（スタンバイ）データベース インスタンスが MOUNT モード中に続けてインベントリされた場合、不足しているインベントリ値が FlexNet Manager Suite のインスタンス レコードに追加されます。逆に、Oracle データベース インスタンスが稼働中にインベントリされ、そのあとスタンバイ中にインベントリされた場合、最終インベントリとの一貫性を保つために、追加値は削除されます。

この機能は、ターゲット デバイスで適切なインベントリ ビーコンをダウンロードおよびインベントリ コア コンポーネントを実行するライトウェイト インベントリ スキャナー、およびゼロフットプリント インベントリ収集でも使用できます。

以前のリリースからの変更点

クラウド Web アドレス (URL) の変更

クラウド カスタマーにはサブドメインが提供されているため、FlexNet Manager Suite へのアクセスに使用する URL には、アドレスの始まりにサブドメインを含む必要があります。サブドメイン名は、通常会社名です（厳密には、FlexNet Manager Suite web ページの右上に表示されるテナント名）。例：

古い URL `http://flexnetmanager.com/Suite`

新しい URL `http://company-name.flexnetmanager.com/Suite`

オペレーターが Flexera Account Management を使用して古い URL にログインすると、デフォルトで自動的に新しいテナントを含む URL にリダイレクトされます。

メモ: このリダイレクトは SAML 2.0 (Security Assertion Markup Language) 標準と互換性を持つシングルサインオン ソリューションを使用するアカウントには適用しません。

クラウド向け多要素認証

クラウド カスタマー向けに、FlexNet Manager Suite は今回より SAML (Security Assertion Markup Language) 2.0 に準拠するアイデンティティ プロバイダーとの統合をサポートします。選択した SAML アイデンティティ プロバイダーが多要素認証をサポートする場合、オペレーターが多要素認証を使用するように要求することができます。(Flexera アカウントを使ってログインしても、多要素認証はサポートされません。)

管理者アクセスを持つオペレーターは、SAML アイデンティティ プロバイダーとの統合を追加するために必要な構成変更を行うことができます。これらの設定は、[システム設定] ページの [セキュリティ] タブにあります。詳細は、このタブのオンライン ヘルプを参照してください。なお、オンライン ヘルプのタイトル ページから取得可能な System Reference PDF (英語のみ) に認証に関する新しいトピックが追加されています。

ログインは、サービス プロバイダーまたはアイデンティティ プロバイダーのどちらかによる開始が可能です。アイデンティティ プロバイダーがログアウトを開始することはできません。

ヒント: SAML 準拠のアイデンティティ プロバイダーを使ってログインするには、クラウド カスタマーがテナント固有のサブドメイン (例: <http://company-name.flexnetmanager.com/Suite>) を含む URL を使用する必要があります。

ライセンス消費の計算に関する変更

FlexNet Manager Suite の以前のリリースで、一部のライセンス タイプについて、ライセンス消費規則 [割り振りがエンタイトルメントを消費する] が設定されている場合、インベントリでそのデバイス上に対応するインストールが表示されるかどうかにかかわらず、デバイスの割り振りが 1 エンタイトルメントの消費が算出されました。

FlexNet Manager Suite 2017 R3 から、割り振りの消費処理もライセンスにリンクされている少なくとも 1 つ以上のアプリケーションに依存します。その論理は次の通りです:

- パーマネントの割り振りが行われた場合、または [割り振りがエンタイトルメントを消費する] 規則が設定されている場合、FlexNet Manager Suite では、一致するインストール レコードの有無にかかわらず、割り振りに対して消費が計算されます。消費はライセンスに指定された通りで、1 エンタイトルメント/ポイントよりも大きい可能性があります。(たとえば、計算に必要なプロパティが不足している場合など、計算が常に可能であるとは限りません。)
- パーマネントの割り振りが行われた場合、または [割り振りがエンタイトルメントを消費する] 規則が設定されているが、ライセンスにリンクされているアプリケーションがない場合、割り振りの消費はゼロ (0) に設定されます。(この結果は、消費を手動で入力してオーバーライドすることができます。)

ベストプラクティスは、各ライセンスに少なくとも 1 つ以上のアプリケーションをリンクさせることです。アプリケーションの認識ライブラリに適切なアプリケーションが存在しない場合、手動で新しいアプリケーション レコードを作成することができます。

XenApp サーバー エージェントがインベントリ ビーコンへの直接アップロードをサポート

オンプレミス カスタマー向けに、FlexNet Manager Agent for XenApp Server (「XenApp サーバー エージェント」とも呼ばれます) 用の新しいコマンドライン オプションが提供されており、収集されたデータを中間ステージング データベースに保存する代わりに、直接インベントリ ビーコンにアップロードすることができます。その後、インベントリ ビーコンは、中央コンプライアンス データベースにデータをアップロードします。この代替処理は、ステージング データベースが余分な管理オーバーヘッドである、またはセキュリティ リスクとなる場合に有効な手段です。

新しいオプションは選択されたインベントリ ビーコンに、ユーザー名とパスワードの他に URL も指定してインベントリ ビーコンに接続します。これらのオプションについては、*FlexNet Manager Suite Adapters Reference* PDF (英語のみ) で説明されています。

アップロードされたデータが、複数の XenApp Server から収集されている場合、それぞれのデータについて、インストールされている XenApp サーバー エージェントのローカル コピーが存在する可能性があります。アップロード後、個別の XenApp インベントリ アダプター (インベントリ ビーコンにインストール済み) を保存済みデータに対して実行し、結果を結合および標準化する必要があります。インベントリ ビーコンからコンプライアンス データベースへの直接アクセスは、オンプレミス実装でのみ可能です。(クラウド実装を使用中の場合、個別の、アクセス可能なステージング データベースを持つ既存のアーキテクチャを引き続き使用してください。)

[ライセンスのプロパティ] ページの変更

[ライセンスのプロパティ] ページの左側に表示されるライセンス カードは、同じページの [エンタイトルメント] および [消費] セクションに表示されている情報と重複するため削除されました:

2017 R2 以前

2017 R3



暗号化フェールオーバー テクノロジーの削除

これまで FlexNet Manager Suite は必要な場合に AES 暗号化を使用しました。インベントリビーコンの Password Manager がその一例です。AES が使用できない場合の代替テクノロジーとして、Triple DES および DES の両方がサポートされていました。

現在 AES はサポートされているすべてのプラットフォームに存在し、DES および Triple DES はもはや強力な暗号化テクノロジーとは認識されなくなったため、DES および Triple DES の両方がフェールオーバー テクノロジーとして FlexNet Manager Suite から削除されました。

AES は十分に普及しているため、この強化によるカスタマーへの影響はないものと考えられます。

サイレント インストールにおける資格情報の暗号化サポート

オンプレミス カスタマーは今回より、暗号化済みの資格情報を格納する資格情報ストアを参照する応答ファイルを、サイレント インストール用に作成することができます。これによって、応答ファイルにユーザー名およびパスワード情報を格納することを回避できます。

IBM License Metric Tool (ILMT) 9.2.5 から 9.2.8 のサポート

FlexNet Manager Suite は今回より、ILMT が Microsoft SQL Server または IBM DB2 データベースのいずれかを使用するように構成されている場合、次の ILMT バージョンをサポートします：

- 9.2.5
- 9.2.6
- 9.2.7

- 9.2.8

VMware vSphere および vCenter 2.5 から 4.x のライフサイクル終了

FlexNet Manager Suite は今後、Mware vSphere または vCenter 2.5.x から 4.x をサポートしません。

FlexNet Manager Suite は、VMware 製品 vSphere、vCenter、および ESXi の 5.0 から 6.5 をサポートします。

インベントリ ビーコンのアップデート推奨

ベスト プラクティスとして、インベントリ ビーコンを中央アプリケーション サーバーと同じリリースにアップデートすることが推奨されます。これは、ダウンロード済みのビーコン ポリシーにデジタル署名を使用する場合、特に重要です。(クラウド実装の場合、およびポリシーの署名を有効化しているオンプレミス カスタマーの場合は常にアップデートが必要です)2017 R2 以前の FlexNet Beacon インストール (内部バージョン番号 12.3) は、インベントリ ビーコン ポリシー 2017 R2 または 2017 R3 からの署名を処理することができません。

FlexNet Report Designer

Flexera Analytics は、FlexNet Report Designer 製品にとって代わります。また、Cognos バージョン 11 のインストールが必要です。FlexNet Report Designer の機能が大幅に強化され、Flexera Analytics に変更されました。

使用許諾契約

お客様の会社がライセンスを購入して、フレクセラまたは公認フレクセラのリセラーとのソフトウェア使用許諾契約書に同意した場合、このソフトウェアの使用に関して、その使用条件が適用されます。そうでない場合、評価または全額支払い済みのライセンスを基本として、このソフトウェアの使用は、ダウンロード済みのインストール パッケージに含まれている、クリックスルー形式の FlexNet Manager エンドユーザー使用許諾契約に基づいた使用条件が適用されます。

該当するソフトウェア使用許諾契約に同意できない場合、いずれのコンピュータにも FlexNet Manager Suite をインストールすることはできません。また、既にインストール済みの場合、これをインストール済みのすべてのコンピュータから削除する必要があります。また、所有するソフトウェアのすべての複製を返却または破棄しなくてはなりません。

ライセンスの互換性

このリリースには、Flexera からのアップデート済みライセンスが必要です。

クラウド カスタマのライセンスは、自動的にアップデートされます。

オンプレミス カスタマは、support@flexerasoftware.com からライセンス キーを要求する必要があります。ライセンスが作成された後、要求者に電子メールが送信され、そのコピーが **製品 & ライセンス センター** に保管されます。アップデートされたライセンスは、FlexNet Manager Suite にインポートする必要があります。

インストールおよびアップグレードについて の通知

FlexNet Manager Suite リリース 2017 R1 または 2017 R2 からオンプレミス実装をアップグレードする場合、(下の一覧から「アップグレード」ドキュメントを使って) 通常のアップグレード手順に従ってください。

以前のリリース (2014 - 2016 R2) からアップグレードする場合、確実にすべてのコンポーネントをアップグレードしてください。

- アプリケーション サーバー (オンプレミス実装の場合、通常のアップグレード手順を使用)
- すべての FlexNet インベントリ ツール。フル FlexNet インベントリ エージェント、簡易 FlexNet インベントリ スキャナー、すべてのインストール場所にある FlexNet コア インベントリ コンポーネント
- すべてのインベントリ ビーコンにインストールされている FlexNet ビーコン

ヒント: クラウド (SaaS) 実装をご利用中のカスタマーには、すべての FlexNet インベントリ ツールおよびインストール済みのインベントリ ビーコンを最新版にアップデートすることを強くお勧めします。

この推奨は、以前のバージョン (2017 R1) と共にリリースされたすべてのコンポーネントに関係する継続的なセキュリティ保護の強化に基づくものです。

現在のリリースである FlexNet Manager Suite 2017 R3 へのアップグレードおよびインストールの手順をオンプレミス カスタマー向けに説明する 4 つのドキュメントがあります。

- Installing FlexNet Manager Suite 2017 R3 On Premises (英語のみ) Flexera Analytics 2017 R3 をインストールするためのオプションを含みます。
- Installing FlexNet Manager Suite 2017 R3 for a Managed Service (英語のみ)
- Upgrading FlexNet Manager Suite from 2014 Rx to 2017 R3 On Premises (英語のみ) FlexNet Manager Platform バージョン 2014 以降からのアップグレード用です。

- Migrating to FlexNet Manager Suite 2017 R3 On Premises (英語のみ)FlexNet Manager Platform 9.2 から FlexNet Manager Suite 2017 R3 への移行について説明されていません。FlexNet Manager Platform の以前のバージョンは、この移行を開始する前に 9.2 バージョンにアップグレードする必要があります。

これらは、[製品 & ライセンス センター](#) および [カスタム コミュニティドキュメント](#) サイト (英語のみ) からアクセス可能な **Installation Documentation for FlexNet Manager Suite 2017 R3** アーカイブに含まれています。これらは、オンプレミス実装のオンライン ヘルプのタイトルページからも取得できます。

修正されたバグ

FlexNet Manager Suite 2017 R2 のリリース以来、**FlexNet Manager Suite 2017 R3** リリースでは、次の問題が修正されました。

案件番号	概要
FNMS-34452	Oracle VM Hosts are not imported when there is only Oracle VM Manager inventory
FNMS-41212	Oracle inventory fails when large XML data is generated with error 'internal error: Huge input lookup'
FNMS-46785	The Last login details in the All Accounts grid are inaccurate for FlexNet Manager Suite cloud
FNMS-46926	For multi-tenant systems, license reconciliation deadlocks can occur when multiple tenants alter hardware and software details
FNMS-48123	In XenApp, if BrowserName and PublishedName are different, Usage information may be missing
FNMS-48150	The inventory importer may perform poorly when creating application instance users
FNMS-48312	Migration tool ConfigureSystem is slow processing purchase records after performing an upgrade from FlexNet Manager Suite 9.2 to 2017 R1
FNMS-50033	For multi-tenant systems, the Inventory Manager database migration may fail when one database server processes multiple partitions at once
FNMS-50252	In the Business Importer, entering multiple columns for tracing is not supported
FNMS-50268	A duplicate virtual host is fabricated, causing inventory import to fail, when inventory from a partition is missing the serial number
FNMS-50299	Business Importer fails to import an object that has unknown (unpopulated) properties
FNMS-50359	Business Importer fails when importing AssetType objects
FNMS-50446	FlexNet Beacon earlier than 2017 R2 fails signature check on cloud policy downloads when specific device(s) are used in target

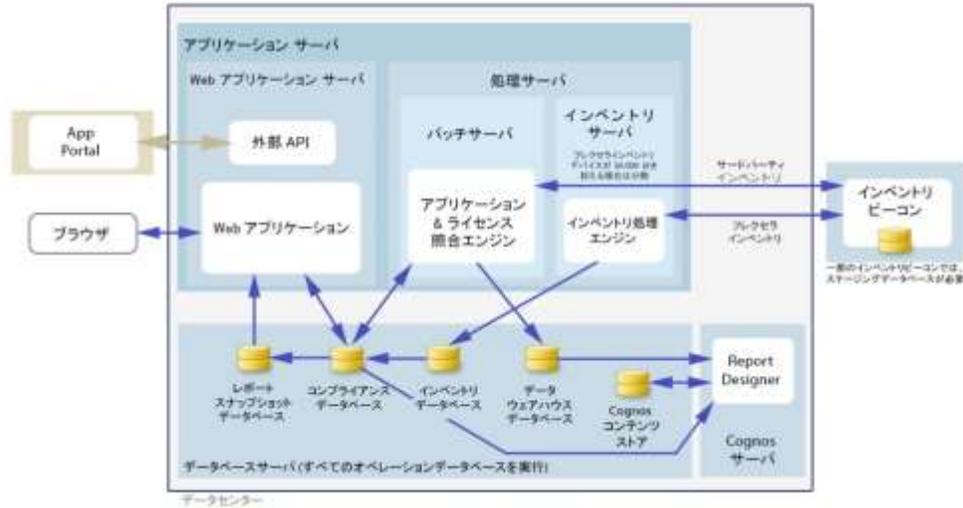
FNMS-50752	The Business Importer may fail if a business adapter uses parameter created from a default schema
FNMS-50753	Business Importer is slow when processing 400,000 assets into FlexNet Manager Suite
FNMS-50889	Custom properties may not appear in Asset properties or in reports, after an upgrade to FlexNet Manager Suite 2017 R2
FNMS-50989	High-frequency PVU license reconciliation may fail if an ESXi host is deleted but a guest VM still reports inventory
FNMS-51006	The PVU reconciliation step may perform poorly, due to an index scan occurring on the SoftwareLicenseAllocation table
FNMS-51354	The serial numbers for VM hosts are reported incorrectly after migration to FlexNet Manager Suite 2017 R2
FNMS-51388	Importer fails to merge ESX servers from multiple sources with different UUID endianness
FNMS-51544	Windows Server 2016 licenses may incorrectly calculate consumption using 1 entitlement instead of 2 cores
FNMS-51657	Cannot set International Mobile Equipment Identity (IMEI) phone number as criteria in the Business Importer
FNMS-51698	App-V Standalone Inventory adapter may fail when computers have no domain
FNMS-51998	Business Importer fails to import ComputerType object when preset value is used
FNMS-52053	If upgrading to FlexNet Manager Suite 2017 R2 without a full inventory update, some fabricated virtual host records may not clean up in the staging tables
FNMS-52223	An inventory device with a blacklisted serial number does not appear on the Inventory Issues page and All Inventory page
FNMS-52406	Import may fail with a constraint violation importing VDI templates, when a new VDI template is introduced into the system
FNMS-52580	Inventory importer may fail when Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) has long values for recently used MSIs

システム要件

システム要件は、10,000 台から 200,000 台範囲のデバイスを含む一般的な実装に基づきます。規模が大きい実装の場合、担当アカウント マネージャを通してフレクセラ グローバ

ル コンサルティング サービスに問い合わせ、実装デザインおよびデプロイメントのアシスタンスを受けてください。

次の図は、標準的な実装の構造を説明します：



特定の実装に適切な推奨サーバ数については、Installing FlexNet Manager Suite 2017 R3 On Premises ガイド (英語のみ) を参照してください。

FlexNet Manager for SAP Applications 機能のみを使用する実装のサイズに関する推奨条件については、FNM-SAP サイズ ガイドライン 2017 R3 ガイド (英語のみ) を参照してください。

ネットワーク要件

ネットワーク

分類	要件	
Internet Protocolバージョン	IPv4、IPv6 およびデュアル スタック。	リモート実行 (たとえば、リモート検出およびインベントリの収集) には Ipv4 が必要です。 FlexNet Manager Suite Cloud およびトップ階層のインベントリビーコンサーバー間のコミュニケーションには IPv4 が必要です。 Microsoft CAL デバイス ライセンスの計算には、CAL エビデンスの収集およびコンピューターインベントリに IPv4 が必要です。
ポート	80 & 443	オプションのインベントリ ソースには、追加ポートが必要です。詳細については、オンラインヘルプの「インベントリ ビーコンのポートおよび URL (Ports and URLs for Inventory Beacons)」を参照してください。

クラウド

分類	要件	
DNS ホスト名を使用しないクラウド顧客が必要な IP 範囲	US ドメイン: 実稼動環境 - 64.14.29.0/24 DR - 64.27.162.0/24 EUS ドメイン: 実稼動環境 - 62.209.49.0/24 DR - 162.244.221.0/24	インベントリ ビーコンと FlexNet Manager Suite Cloud 間のファイアウォールにおけるネットワーク構成には、DNS ホスト名の使用が推奨されます。予告なし、または限られた通知のみで IP アドレスが変更になる場合があります。

ハードウェア要件

アプリケーション サーバー

分類	要件
プロセッサ	4 コア (オペレーターが 100 人以上の場合は 8 コアまで)
メモリ	8 GB
システムドライブ	40 GB
データドライブ	DataImport および Temp フォルダー (各 2GB、コンテンツ ライブラリの更新用)

データベース サーバー

分類	要件	
プロセッサ	オペレーター 100 人につき 4 コア	
SQL Server で使用可能なメモリ	デバイス 50,000 台につき 16 GB	
システムドライブ	40 GB	
データドライブ (シンプルなデータベース回復モデルに基づく、標準的なサイズ)	コンプライアンス データベース データ	10,000 デバイスごと: 初年度 25 GB + 15 GB 追加/年
	コンプライアンス データベース ログ	デバイス 10,000 台につき 20 GB
	インベントリ データベース データ	デバイス 10,000 台につき 20 GB (FlexNet インベントリ使用)
	インベントリ データベース ログ	デバイス 10,000 台につき 10 GB (FlexNet インベントリ使用)
レポート スナップショット データベース データ	10 GB	
レポート スナップショット データベース ログ	10 GB	
データ ウェアハウス データベース データ	20 GB (1,000 ライセンスに基づく)	
データ ウェアハウス データベース ログ	20 GB	
tempdb データ	デバイス 10,000 台につき 5 GB	

分類	要件
tempdb ログ	デバイス 10,000 台につき 1 GB
Cognos コンテンツ ストア データ + ログ	1 GB
合計	デバイス 10,000 台につき 60 GB + 80 GB
年間増加率	デバイス 10,000 台につき 15 GB

FlexNet Designer (Cognos) サーバー

分類	要件
プロセッサ	4 コア
メモリ	16 GB+ 推奨
システム ドライブ	100 GB

FlexNet Beacon

分類	要件
プロセッサ	2 コア
メモリ	最小 4GB、8 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	デバイス 10,000 台につき 1GB

FlexNet インベントリ エージェント

分類	要件
プロセッサ	1 コア
メモリ	最小 512MB、2 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	25MB インストール + 100MB ワークスペース

前提条件ソフトウェア

FlexNet Manager Suite 2017 R3 リリース時にサポート対象のオペレーティング システムおよびソフトウェア前提条件は次の通りです。別途記載が無い限り、リリースのサポートには、同じリリースに対してリリースされるすべての公式サービス パックのサポートも含まれます。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
アプリケーション サーバー	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 SP1-SP2 • Windows Server 2008 x64 SP1-SP2 	<ul style="list-style-type: none"> • .NET Framework 4.5.x • Internet Explorer 10.0 to 11.0 • Microsoft Internet Information Services 7.0 から 10.0 • Microsoft Message Queuing (MSMQ) • Microsoft Access Database Engine (32-ビット) • SQL Server 機能: クライアント ツール接続、管理ツール

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
データベース サーバー (Cognos データベース サーバーを含む)	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 x64 SP 1 Windows Server 2008 SP1-SP2 Windows Server 2008 x64 SP1-SP2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2016 * SQL Server 2014 SQL Server 2012 SQL Server 2008 R2 SQL Server 2008 SQL Server クライアント ツール、同一バージョン
		<p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft SQL CLR 統合を有効にする必要があります。 * Cognos コンテンツ ストア データベースを含み、任意の FlexNet Manager Suite データベースを SQL Server 2016 上で実行する際、互換性レベルを SQL Server 2012 (110) または SQL Server 2014 (120) 互換モードに設定する必要があります。 マルチテナント インストールには、SQL Server Enterprise Edition が必要。シングルテナント インストールには、任意の SQL Server エディションを使用可能。 レガシー契約管理 Web ポータルを使用しているカスタマは、ドキュメント内部を検索できるようにフルテキスト インデックスを有効化してください。 Flexera Analytics を使用するには、Microsoft SQL Server で TCP/IP プロトコルが有効化されていること、またデータベース サーバーと通信するためのネットワーク アクセス許可が必要です (これは、ファイヤーウォールによってブロックされている可能性があります)。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Flexera Analytics / Cognos Server	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 x64 SP1 Windows Server 2008 SP1-SP2 Windows Server 2008 x64 SP1-SP2 	<ul style="list-style-type: none"> .NET Framework 4.5.x ASP.NET の登録: C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64\v4.0.30319\aspnet_regiis.exe -i) <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ ストア データベースを実行中のデータベース サーバー以外のサーバーに FlexNet Analytics をインストールする場合、FlexNet Analytics をホストするサーバー上に Microsoft SQL Server Native Client をインストールする必要があります。 Cognos サーバーは、マルチテナント インストールでサポートされていません。
FlexNet Manager for SAP Applications の管理モジュール トランスポート	<ul style="list-style-type: none"> SAP Basis リリース (7.0 および 7.4 の間) 	<ul style="list-style-type: none"> SAP リリースに一致する SAP GUI をインストールする必要があります。 ActiveX をインストールする必要があります。
FlexNet Manager for SAP Applications のサテライト トランスポート	<ul style="list-style-type: none"> SAP Basis リリース (4.6C および 7.5 の間) 	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Web ブラウザー	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 10 – 11 • Microsoft Edge for Windows • Google Chrome 46 – 52 • Mozilla Firefox 45 – 51 • Apple Safari 7 – 10 <p>Flexera Analytics メニュー オプションの一部は、Chrome ブラウザーで利用できません。詳細については、「IBM Knowledge Center (英語のみ)」記事を参照してください。</p> <p>Web ブラウザー リリースのサポートを検証することはできませんが、現時点で、将来的なリリースに問題は確認されていません。</p>	<p>Flexera Analytics は、Microsoft Edge との互換性がありません。</p> <p>最小スクリーン解像度 1024 (水平方向のピクセル) が必要です。</p>
FlexNet インベントリ エージェント	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 SP1 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 Server Core • Windows Server 2008 R2 x64 • Windows Server 2008 Server Core • Windows Server 2008 Server Core • Windows Server 2008 x64 Server Core • Windows Server 2008 x64 • Windows Vista • Windows Vista x64 	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet インベントリ エージェント (続き)	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 • Windows 7 x64 • Windows 8 • Windows 8 x64 • Windows 10 • Windows 10 x64 • Ubuntu 12 – 16 および 17.04 (x86、32 ビット、および 64 ビットのみ) • Debian 7 – 8.6 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Red Hat Enterprise Linux 5、6、7 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • CentOS 6、7 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Fedora 25、26 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Oracle Linux 4.5 – 7.0 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • OpenSUSE Leap 42.2, 42.3 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • SuSE Enterprise Server 11 および 12 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Solaris 9、10、11 (x86)、10 & 11 ゾーン • Solaris 8、9、10、11 (SPARC)、10 & 11 ゾーン • Mac OS X 10.6 Snow Leopard、10.7 Lion • OS X 10.8 Mountain Lion、10.9 Mavericks、10.10 Yosemite、10.11 El Capitan • macOS 10.12 Sierra • AIX 7.1, 7.2, LPARs • HP-UX 11i v3、vPars/nPars 	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet Beacon	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 x64 Windows Server 2008 Windows Server 2008 x64 Windows 7 Windows 7 x64 Windows 8 Windows 8 x64 Windows 10 Windows 10 x64 	<ul style="list-style-type: none"> .NET Framework 4.5.x 任意のサポート対象 Web ブラウザー Oracle OLE DB Provider (32 ビット)、バージョン 10.2.0.3 以降 (Oracle データベース インベントリ用) IBM OLE DB Provider (32 ビットまたは 64 ビット) (DB2 データベースからデータをインポートするための接続用) ドライバーが 32 または 64 ビットのどちらであるかは、オペレーティング システムによって決まります。64 ビットのオペレーティング システムでは、64 ビット ドライバーが必要です。 PowerShell 3.0+ Office 365 では次が必要です: <ul style="list-style-type: none"> 64 ビット サーバー オペレーティング システム .NET Framework 4.5.2 Microsoft オンライン サービス サインイン アシスタント (64 ビット バージョン) Windows Azure Active Directory PowerShell Module Skype for Business Online PowerShell Module

その他の製品との互換性

このセクションでは、リリース時における FlexNet Manager Suite 2017 R3 およびその他のフレクセラ製品との互換性について説明します。

同一サーバー上にインストール

次の表に、FlexNet Manager Suite 2017 R3 アプリケーション サーバーと同じサーバー上にインストールされた、サポート対象コンポーネントの一覧が表示されます。

コンポーネント	FlexNet Manager Suite 2017 R3 と同一サーバー上にインストール可能なバージョン
FlexNet インベントリ エージェント	2017 R3
FlexNet Beacon	2017 R3
Flexera Analytics	2017 R3

その他の製品との統合

FlexNet Manager Suite は、次の製品およびコンポーネントとの統合が可能です。サードパーティー製品のサポートは、元のソフトウェアベンダーが公開しているサポート期日に従います。

環境が元のソフトウェアメーカーによるサポートを終了している場合、フレクセラは「現状のまま」サポートを提供し、バグ修正や機能強化以外の問題のトラブルシューティングのみを行います。

この表は、現在サポートされているバージョンの詳細です:

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
BladeLogic Client Automation (Marimba)	8.2
BMC Atrium CMDB	8.1 (Atrium Integrator バージョン 8.1 要)
BMC Discovery (ADDM)	9.0、10.0、10.1、10.2、11.0、11.1、11.2
BMC Remedy ITSM Applications	7.6.04 SP4
Citrix XenApp EdgeSight	5.4、7.6 (Platinum ライセンス要)
Citrix XenApp Server	6.0、6.5、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11、7.12、7.13、7.14
Citrix XenDesktop	5.6、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11、7.12、7.13、7.14
FlexNet Manager Suite	9.2、2014、2015、2016、2017
App Portal	2013 R2 から 2017 R1
FlexNet Manager for Engineering Applications	15.5、2016 R1、2016 R2、2016 R2 SP1
HP Discovery および Dependency Mapping Inventory (DDMI)	9.30
HPE Universal Discovery (HP-UD)	10.10、10.11

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
Hyper-V	実行プラットフォーム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 Server Core • Windows Server 2008 R2 x64 • Windows Server 2008 x64 Server Core • Windows Server 2008 x64
Microsoft SQL Server 上の IBM BigFix プラットフォーム (以前の名称は Tivoli Endpoint Manager)	8.2、9.5
IBM DB2 上の IBM License Metric Tool (ILMT)	9.0、9.1、9.2.3、9.2.4、9.2.5、9.2.6、9.2.7、および 9.2.8
Microsoft SQL Server 上の IBM License Metric Tool (ILMT)	9.2.3、9.2.4、9.2.5、9.2.6、9.2.7、および 9.2.8
IBM Passport Advantage	2014 年 11 月現在
IBM Software Usage Analysis (SUA)	9.0、9.1 (IBM DB2 データベース上で実行時)
Microsoft App-V Integration Server	4.6、5.0、5.1
Microsoft Exchange Active Sync	2010
Microsoft SMS/SCCM	2007、2012、2012 R2、1511、1602、1606、1610、1702、1706
Oracle Database	8i、9i、10g、11g、11g Release 2、12c メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 8i - ダイレクト インベントリ ビーコン接続が必要 • 9i - Windows の名前付きアカウントまたはダイレクト インベントリ ビーコン接続が必要 • 12c - ローカル エージェントを使用する Oracle Multitenant オプションはサポートされていません
Oracle VM Server for x86	3.2 から 3.4.3

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
ServiceNow	Helsinki、Istanbul および Jakarta
Symantec IT Management Suite (Altiris)	6.5、7.1、7.5
VMware vSphere/vCenter /ESXi	4.0 から 6.5 <i>メモ: ESXi の無償ライセンス バージョンで、リモート インベントリを行うことはできません。</i>
Workflow Manager	2014 から 2016

インベントリ コンポーネント

次の表には、FlexNet Manager Suite 2017 R3 で管理可能な FlexNet Beacon および FlexNet インベントリ エージェントのバージョンが一覧で表示されます。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet Beacon	2014 から 2017 R3 Citrix XenApp インベントリには FlexNet Beacon 2014 R2 以降が必要です。
FlexNet インベントリ エージェント (Windows)	8.4 から 9.2 および 2014 から 2017 R3
FlexNet インベントリ エージェント (Linux)	<i>メモ: 以前のバージョンは、スケジュールに基づいてデフォルト ポリシーを受け取り、インベントリを収集する機能の面で互換性を持ちます。より新しい、次のようなエージェント機能はサポートされていません:</i> <ul style="list-style-type: none"> • Internet Protocol バージョン 6 (IPv6) • (.Ini ファイルおよびレジストリ コントロールではなく) UI 設定を使った使用率追跡の制御 (2014 (R1) より) • IP アドレスがターゲットとする設定 (2014 (R1) より) • CAL インベントリ (2016 R1)
FlexNet インベントリ エージェント (Solaris)	
FlexNet インベントリ エージェント (Mac OS X)	
FlexNet インベントリ エージェント (AIX)	
FlexNet インベントリ エージェント (HP-UX)	
Citrix XenApp サーバー エージェント	2014 R3 から 2017 R3

既知の問題

FlexNet Manager Suite 2017 R3 リリースに関する既知の問題一覧は、リリース時にフレクセラ サポート サイトで参照できます。詳細は、ナレッジベース記事「[Known Issues for FlexNet Manager Suite 2017 R3 \(FlexNet Manager Suite 2017 R1 に関する既知の問題\)](#)」を参照してください。

ドキュメント

FlexNet Manager Suite 2017 R3 のドキュメントは、オンライン ヘルプとして提供されています。Web ユーザー インターフェイスから、疑問符記号のアイコンをクリックしてヘルプを起動してください。追加ドキュメントは、オンライン ヘルプのタイトル ページから取得することができます。オンライン ヘルプおよび追加ドキュメントは、その内容が必要に応じてカスタマイズされているため、すべてのドキュメントはオンプレミス バージョンとクラウド バージョンで異なります。オンプレミス カスタマは、[Documentation Center](#)から追加ドキュメント ファイルにアクセスが可能です。

ドキュメント コンポーネント	言語
オンライン ヘルプ	英語 ドイツ語 フランス語 – FlexNet Manager for SAP Applications 機能
追加ドキュメント	英語 ドイツ語 – FlexNet Manager for SAP Applications ユーザー ガイドおよびインストール ガイドのみ
その他すべての追加ドキュメント	英語

インストールおよびアップグレードに関する詳細は、このドキュメントの「[Installation and Upgrade Procedures \(インストールおよびアップグレードの手順\)](#)」セクションを参照してください。

その他の情報

項目	説明
Flexera Web サイト	フレクセラについての情報 http://www.flexera.jp
Flexera システム ステータス ダッシュボード	Flexera のクラウド製品についての現在のリリース状況を表示します。 https://status.flexera.com

項目	説明
サポート	サポート Web サイト (ナレッジベースを含む) (英語のみ) https://flexeracommunity.force.com/customer
製品ダウンロード	フレクセラ製品 & ライセンス センター https://flexera.flexnetoperations.com/flexnet/operationsportal/start Page.do
電子メール サインアップ	ホットフィックスを含む FlexNet Manager Suite のソフトウェア アップデートに関する通知 http://learn.flexerasoftware.com/SLO-FMS-Software-Content-Library-Updates